

### 第3回 鉄道の輸送トラブルに関する対策のあり方検討会 発言概要

日時：平成30年5月29日(火) 10:00~12:00

場所：中央合同庁舎2号館 地下1階 国土交通省第2会議室AB

<議事1：各WGの検討状況について>

○各WG主査及び事務局から、WGの検討状況や取りまとめの方向性について説明

【各WG主査発言概要】

- ・台車き裂対策WG主査：新幹線の台車を例にとると、設計は共通しているが、複数のメーカーが個別に製造していることから、作り方やノウハウなどは違う。これは各メーカーが競い合い、進化を続けてきた結果であり、これを統一化してしまうと進化しなくなる。近年、台車のき裂などの不具合事象が減少しているため、不具合事象への対応を経験する機会が減少していると思われることから、各メーカーの安全に関わる情報については共有が必要と考えている。そのような内容を夏のとりまとめの時には入れたいと考えている。
- ・輸送障害対策WG主査：各事業者で優れた取組みを行っているが、それがその事業者の中で留まっている。この検討会では、「鉄道事業者が連携する取組」や「国等による支援」の議論を深めたいと考えている。「電気設備の維持管理に関する取組」については、技術開発がどのように貢献できるかという観点と、優秀な人をどのように採用・教育し持続可能な組織にするかという観点がまだ抜けた状態であるが、他のWGと重なる部分があると考えるので情報共有をしながら進めたい。事業者を越えた情報をどのように共有するか、各事業者の思想などを尊重しつつ実効的な取組についてとりまとめていきたい。
- ・組織体制・技術伝承対策WG主査：10年後、20年後のことを考えて、今必要な対策が打てるか、と考えて議論している。必要に応じて組織変革を求めることになるかもしれない。複数の鉄道事業者の現場も見させていただき、色々ご意見をいただいている。ご協力いただいている事業者の皆様には感謝している。31日に次回WGを開催するが、危機感の共有が大切と認識している。対応策は、各社でやるもの、業界でやるもの、国でやるもの、のそれぞれに分けて整理したいと考えている。

○意見交換

【有識者委員発言概要】

- ・(台車き裂対策WGに対して) 国・鉄道事業者・台車メーカー・素材メーカー間の現状の体制や役割分担、情報交換の重要性等について意見交換。
- ・(輸送障害対策WGに対して) 輸送障害時の運転整理へのAI等の活用、鉄道事業者の取組事項等について意見交換。
- ・(組織体制・技術伝承対策WGに対して) 資格制度の活用・創設、安全を最優先とする企業風土等について意見交換。

<議事2：輸送トラブルに係る根本的、構造的な事項について>

○事務局より、輸送トラブルに係る根本的、構造的な事項について説明。

○意見交換

輸送トラブルに係る根本的、構造的な事項に対する今後の議論の進め方について、了承。